

とくしま産学官連携プラットフォーム 2022年度 実施状況報告書

1. 各ワーキンググループの年度計画の達成度			
	第1WG	第2WG	第3WG
取組内容	3	3	3
年度計画	3	3	3
※達成度(4段階)：4(計画を上回って実施)、3(計画通り実施)、2(計画を下回って実施)、1(未実施)			
2. 各WGにおける優れた点・特色ある点、今後の課題			
	第1WG	第2WG	第3WG
特色ある点	<p>a.)①共同のYouTubeチャンネル「とくしま丸ごとキャンパスガイド」により、参画高等教育機関の魅力を県内外に発信し、県教育委員会のLINEアカウントにて広報を実施。</p> <p>a.)③県内高等教育機関のオープンキャンパス情報を一元化したチラシを作成し県内全ての高等学校へ配布。</p> <p>b.)④COC+R事業参加校で単位互換に関する協定に基づき、33科目を対象とした。</p> <p>c.)②大学が共同し、「外国人留学生対象大学見学ツアー」を計3回実施。</p>	<p>a.)①光関連産業分野の共同研究・研究事業において、取組目標を上回る35件実施。</p> <p>b.)②県と高等教育機関において連携事業に139件取り組むとともに、新たな連携事業8件を実施。</p> <p>b.)⑤地域の課題解決をテーマとしたフィールドワークを9テーマ実施。</p> <p>b.)⑥徳島県立総合高等学校「まなびーあ徳島」のホームページ上において、「地域課題解決共同人材バンク」を設置、運営した。</p> <p>c.)①徳島県総合防災訓練、徳島県国民保護訓練への参加を含むボランティア講座を4回実施し、3高等教育機関から延べ65名が参加した。</p>	<p>a.)②共同IRの実施について、県内高校4校の3年生を対象にした意識調査の他、新たに参画高等教育機関の卒業年次学生を対象とした意識調査を共同で実施。</p> <p>b.)⑥地域人材育成をテーマとした共同FD・SD研修会を計3回実施。</p> <p>c.)②四国大学と徳島県中小企業団体中央会が連携して作成した産業界のニーズに対応したプログラム等を実施。</p> <p>c.)④「とくしまリカレント教育支援センター」にて、リカレント情報を発信。また、徳島県にて中小企業経営者、従業員に対してリカレントニーズに関する調査をアンケート形式で実施し、関係機関へ結果を共有。</p>
今後の課題	<p>a.) ④高校生対象IR調査におけるニーズへの対応。</p> <p>c.) ③留学生共同サポートセンターと県の留学生担当部署を交えて協議を実施するなど、共同での留学生定着支援について検討を進めたが、より一層の推進が必要。</p>	<p>a.)③光産業分野の共同研究が活発になる一方、6次産業化については取組件数が大幅に増加したもののさらなる推進が必要である。</p> <p>c.)②1高等教育機関のみが災害会議へ参加出来ない。</p>	<p>a.) ③サテライトオフィスの共同利用について、共同でのフィールドワークで活用するなど推進したが、更なる推進にむけた検討が必要。</p> <p>b.) ①、②、③国が推進するデジタル人材のさらなる育成のため、小中高のニーズを捉えたプログラムの開発と回数の拡大が必要。</p>
3.実施状況を踏まえたワーキンググループ運営に関する課題と改善策			
<p>《課題》</p> <p>①各WGの事業費について、昨年度から既存事業についても使用可能としたが、各WG毎に使用実績に差がある。</p> <p>②対面とオンラインのハイブリッドでの取組により影響が緩和されたものの、新型コロナウイルスの影響を受け一部の事業の推進に影響が生じた。</p>			
<p>《改善策》</p> <p>①各WGにおいて、より効率的な事業の推進に向け、事業費の活用を検討する。</p> <p>②コロナ禍で蓄積したノウハウを活用し、アフターコロナにおいてもハイブリッドでの取組を継続し、効果的な事業の実施に努める。</p>			
4.その他(評価・検証部会への報告事項等)			